

実例と基準値-3 応急処置:片持ち排気ファンの軸受振動低下にシートを SIM.NO.0130-0131

諸元 / (10 年程度稼働) 主因...軸受ハウジングの摩耗によりバランス修正も不可、シートを挿入した。

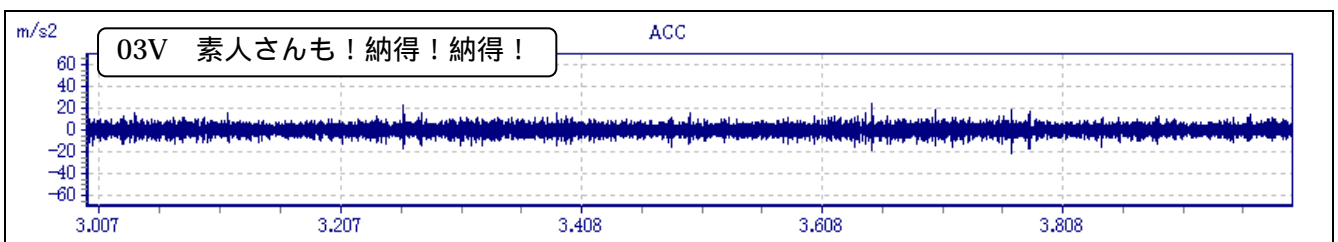
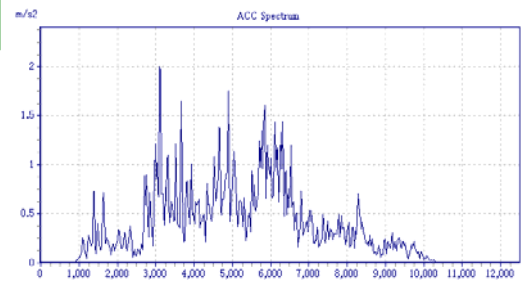
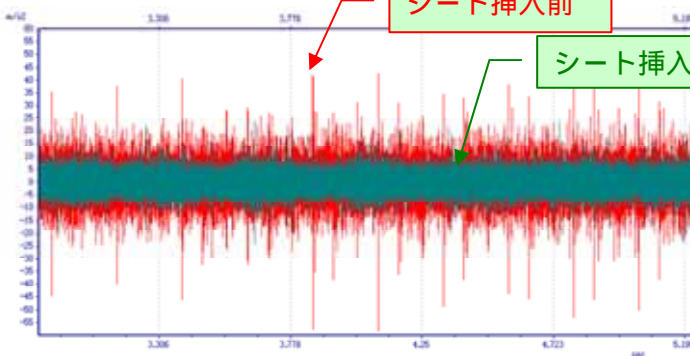
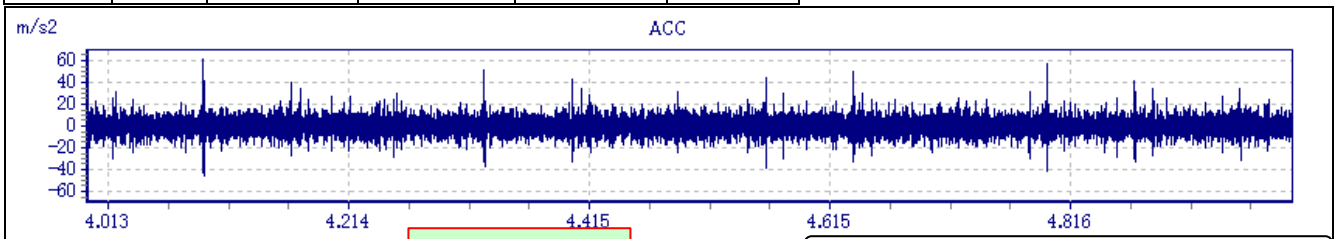
- ・ 5 5.0 kW 4 P ベルト増速 1785rpm 2977rpm
- ・ インペラ (鋼製) ・ 120Nm³ / min × 3/2.0kPa
- ・ 6 3 1 3 C3 (軸径 = 70φ) ・ コンクリート基礎 + 柔性架台

【測定値】 ...バランス修正後、まだ異常な衝撃を感じる！

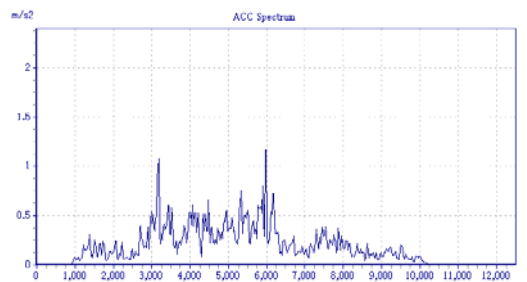
部位	方向	mm/s	m/s ² P/5	m/s ² -R	P/R
	V	1.88	10.87	6.63	1.07
	H	2.57	8.13	6.92	1.23

ベアリング外輪外径面とハウジング間に 0.1mm のシート挿入後

	V	2.20	3.19	3.37	0.95
	H	2.37	2.38	2.90	0.82



シート挿入後、手の感覚でも衝撃性は低下した。
素人さんも納得！納得！



- ・シート(良品計画製 0.1mm が良い)を挿入して暫定処置をしたが、結構モツ！
- ・長さは隙間を勘案して！
- ・この種の軸受は、稼働後 0.5 年もすれば摩耗が助長される。(フレッチング摩耗による)